

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	<u>11</u>
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	<u>2</u>
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	<u>6</u>
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	<u>11</u>
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	<u>30</u>

事業所番号	3970300152
法人名	(社福)ふるさと自然村
事業所名	グループホーム安芸
訪問調査日	平成 20 年 2 月 7 日
評価確定日	平成 20 年 6 月 4 日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成20年2月21日

【評価実施概要】

事業所番号	3970300152
法人名	(社福)ふるさと自然村
事業所名	グループホーム安芸
所在地 (電話番号)	安芸市川北甲1812-15 (電話) 0887-35-8010

評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成20年2月7日	評価確定日	平成20年6月4日

【情報提供票より】(20年 1月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	平成 17 年 4 月 1 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	13 人	常勤 12(内兼務10)人, 非常勤 1 人, 常勤換算 6.6人	

(2) 建物概要

建物形態	併設 単独	新築 改築
建物構造	鉄筋コンクリート 造り	
	5 階建ての	2 階 ~ 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	35,000 円	その他の経費(月額)	15,000 円	
敷 金	有(円)	無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円)	有りの場合 償却の有無	有/無	
食材料費	朝食	250 円	昼食	350 円
	夕食	400 円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

(4) 利用者の概要(2月 7日現在)

利用者人数	15 名	男性	4 名	女性	11 名	
要介護1	1 名	要介護2	6 名			
要介護3	5 名	要介護4	3 名			
要介護5	名		要支援2	名		
年齢	平均	85.8 歳	最低	77 歳	最高	95 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	かがみ診療所、南国中央病院
---------	---------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

国道に面し、ケアハウス、デイサービスセンター等を併設する建物の2階にある。海に近く、畑もあり、また市街地の延長に商店も並び、立地条件に恵まれている。GHは、広くゆったりした間取りで、季節感いっぱい、明るく清潔感がある。併設施設の利用者との交流も可能である。建物が地域の災害時の避難場所になっており、また建物内にある地域交流ホールやVホールの活用により、地域との交流が図られている。地域密着型の事業所として、ハード・ソフト両面が揃っており、今後、より一層の発展を期待する。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	①	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>個別記録、ケアプランに沿った記録や職員間の情報の共有、利用者が金銭を使う機会の確保など、職員間で話し合い改善計画を立てて随時取り組まれている。地域との係わりは、今後も事業所の持つ多機能性を活かした取り組み、GHからの積極的な働きかけが期待される。</p>
	②	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>各ユニットごとに、職員がミーティングで気づきを話し合い自己評価に取り組んでいる。昨年の評価について職員間で話し合い改善計画を立てている。プランに沿った記録については、職員会で勉強するなど随時取り組んでいる。</p>
重点項目	③	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)</p> <p>市行政、地域代表(民生児童委員)からの質問や意見、家族からの要望など事業所からの報告とともに参加メンバーからの質問、意見が出されるなど双方向的な会議となっている。</p>
重点項目	④	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)</p> <p>家族の面会時には声かけし、来所できない家族には電話で利用者の状況等連絡している。ホーム便り・家族便りの発行により、利用者のGH生活を家族が知ることは、家族にとって安心感やGHへの信頼感が高まる。家族からの要望を踏まえた取り組みを期待する。また、理念にもある「地域との中でのふれあい」を持つためにも、地域に対してGHから情報発信のツール(機関紙の作成など)を検討されることが期待される。</p>
重点項目	⑤	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>小学校の運動会や産業祭に出かけ交流を図っている。施設内に地域交流スペースを設け、3B体操の実施など地域との接点を持つ場を提供するようにしている。町会への加入は、GHが地域の一員としての姿勢を示すものであり、加入について検討された。また、理念に沿ってGHから地域へ出向いて地域活動(清掃活動、社協や老人クラブの行事活動)に参加し、更に交流を深めることが期待される。</p>

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 事業所として理念を作成している。 <input checked="" type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である。 地域密着型サービスの事業所として、平成18年4月に、職員とも話し合い、地域との関わりを付け加えた事業所独自の理念を作り上げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 スタッフルームに掲示し、朝のミーティング時に職員間で話し合いの機会をもっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面（言葉かけ、態度、記録等）において、理念が反映されている。 利用者がゆったりと過ごせるようにこやかに接すると、利用者に思いが伝わり返ってくるので、理念を意識した声かけや態度で接している。		
2. 地域との支えあい					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一人として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 現在は加入していないが、検討している。 <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 小学校の運動会や産業祭に出かけ交流を図っている。施設内の地域交流スペースにて、3B体操を実施するなど地域との接点を持つ場を提供している。	<input type="checkbox"/>	町会への加入は、GHが地域の一人としての姿勢を示すもので、加入について検討されたい。また、ホームから地域へ出向いて、地域活動（清掃活動、社協や老人クラブの行事への参加）に参加し、更に交流を深めることが期待される。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 各ユニットごとに職員が気づきを話し合い、自己評価に取り組んでいる。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 評価については職員とも話し合い改善計画をたてている。プランに沿った記録については職員会で勉強するなど随時取り組んでいる。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 市行政、地域代表(民生児童委員)から質問や意見が出るなど双方向的な会議になっており、家族からは要望を聞くように努めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 サービス内容や取り組み状況について報告し、意見等をいただきながらサービス向上に取り組んでいる。		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 運営推進会議以前から、地域交流ホームの設置等で市へ相談したり、また市主催の研修に積極的に参加している。また、建物が災害時の地域の避難場所になっており、市と合同で防災祭りを開催するなど連携している。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 家族の面会時には声かけをし、来所できない家族には電話で利用者の状況等連絡している。 <input type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 希望があれば写真を提供しているが、プライバシーについては個人情報保護の問題もあり、現在発行について検討中である。 <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について用途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 利用者で管理している方は4名、家族で管理している方もいる。施設で預っている方については、GHの利用料請求時に領収書のコピーを添えて報告している。	○	ホーム便り・家族便りの発行により、利用者のGH生活を家族が知ることは、家族にとって安心感やGHへの信頼感が高まる。家族からの要望もあり、取組まれることを期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 家族会は作られていない。運営推進会議へは、1名の固定のメンバーともう1人参加している。 <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 職員間で話し合い、原因を究明し、本人・家族にも報告する体制になっている。	○	家族等からの意見や苦情は、GHのサービス向上にとって大切なことで、家族等が意見や苦情を出せる場づくりの一つとして家族会など、意見等が気軽にしやすい仕組みづくりが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)	
	9	18	<p>○職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 ユニット間の異動は多少あるが、影響が出ないように配慮している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取、スムーズに移行できるように配慮している。 引継ぎ期間は2週間以上取り、家族にも面会時に職員の異動について伝えるようにしている。</p>		
5. 人材の育成と支援						
	10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 施設内研修も含めた年間計画を立て、また研修の情報は職員室に掲示し周知するなど取り組まれている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 職員会で報告するとともに、研修報告書を職員が閲覧している。</p>		
	11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p><input type="checkbox"/>県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 加入していないが、研修には参加し資質向上に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 法人内の交流はあり、外部研修に参加した際等に、他事業者と交流している。</p>	○	他法人の事業所と学習や交流を図ることは、事業所や地域全体としてのサービス水準の向上にも繋がるため、地域の同業者と交流や連携する取り組みが期待される。
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援						
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応						
	12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 家族のほか、居宅介護事業所のケアマネや病院からも情報を得ている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 入居希望者には、自由に見学をしてもらっている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 管理者2人で面接している。職員は、入居利用希望者の見学時に説明している。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。利用者の出来ることは利用者のペースを大切にしながら対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。</p> <p>家事への参加、食器拭き、洗濯物干しや洗濯物たたみ、掃き掃除、新聞たたみなど、利用者が出来ることを大切に、場面づくりを行っている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。</p> <p>切干大根の作り方や、畑仕事を教えてもらい、家事は自然に動いている姿に学び、先輩として尊敬し、職員も教えられことがある。</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。</p> <p>センター方式の個別生活特性シートを使用し、声かけや話しの中で本人の思いや希望、また家族からの希望や意向についても聞き取りするなど把握に努めている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通が困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。</p> <p>家族から聞き取りしながら、情報を得るようにしている。</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。</p> <p>歩行訓練やリハビリで身体機能が弱らないようにして欲しい、喫茶店に連れ出して欲しいという家族や本人の要望を聞きながら、介護計画を作成している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。</p> <p>月1回全体のミーティング、モニタリングでは、職員は自由に意見を言う雰囲気はある。カンファレンスは不定期に必要時に行っているが、記録の取り方、共有への取り組みは継続中である。</p>	○	本人や家族からの要望を聞きながら、介護計画を作成するようにしている。アセスメント、モニタリングによる新たな事実やケアの気づきを個別、具体的に介護計画に反映できるが、個人記録やアセスメントシート等には情報が少ない。介護計画に即した記録の重要性について話し合い、利用者本位の介護計画の作成に取り組まれない。
16	37	<p>○現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>介護計画は、設定された期間ごとに見直している。</p> <p>短期は3カ月、長期は6カ月で見直している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直している。</p> <p>随時、対応している。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 協力医療機関の往診が月2回あり、また、週3回透析を受けながらGHの生活を継続している利用者があるなど、医療処置を受けながらGH生活を継続できるように努めている。 <input type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 重度化した場合、家族の要望は病院でのケアの希望が多いが、最近、家族から重度化や終末期ケアの話があり、今後の課題である。 <input checked="" type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 ふるさと訪問を行い喜ばれている。車椅子利用者が4～5名いるができるだけ対応できるように努めている。通院は家族が対応できない場合は、職員が支援している。	○	家族から重度化、終末期ケアについて相談があるので、GHでできる支援について、本人や家族と十分に話し合い、体制づくりを検討することが期待される。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができている。 協力医療機関への受診は強制していない。皮膚科等の専門科への受診は利用者家族の希望を聞いている。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができている。 家族や病院から情報を提供してもらっている。		
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 家族からターミナルの希望を聞いている。終末期の対応方針は法人で作成しているが同意書は取っていない。 <input type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるよう取り組んでいる。 現在該当者はいないが、家族と話し合い、対応体制を整備中である。	○	現在該当者はいないが、重度化、終末期のケアは避けられない課題であり、本人や家族と医師、職員が十分話し合い、取り組まれることが期待される。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 一人ひとりの生活を大切に配慮している。 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 面会者のプライバシーを考慮して、面会カードを人目に触れないように箱に入れてもらったり、掲示する写真にも気を掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底している。 採用時からプライバシーの保護について、研修し気をつけている。		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 利用者に希望を聞いて、希望の美容院に行ったり、買物、散歩に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 天候や車両の手配ですぐに対応できないこともあるが、その場合は利用者に説明し、できるだけ対応するように配慮している。		
(2)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 各ユニットで、利用者の意見、好みを聞きながら献立を作っている。調理から後片付けの中で利用者ができることをしてもらっている。 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事の介助にとどまらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 職員は利用者と同じテーブルにつき、同じ食事を取っている。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 毎日、希望に応じ夜8時まで入浴が可能である。 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせて入浴支援を行っている。 個別対応で、職員からの声かけ、家族の来訪時は家族から声かけをしていただいている。清拭も行っている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 利用者の言葉や家族からの聞き取りにより把握し、記録している。 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 食事作り、歌や編み物、切り紙など利用者の経験を活かした取り組みをしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 食事の準備、洗濯物たたみ、ゴミ出しの役割や喫茶店へ出かけることを楽しまれる利用者など、職員からも働きかけを行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 財布を自分で管理し買物を楽しむ利用者もおられる。散歩のほか買物や喫茶店に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも、車や車いす等を利用し、戸外へ出ることを積極的に 行っている。 四季折々にバスレクを開催、車椅子の利用者も積極的に戸外に出かけている。 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 週2回の買物に、利用者も同行するなど、利用者の希望に応じた支援をしている。		
(4) 安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 夜間のみ鍵を掛けている。 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して、対応している。 外出の傾向は把握しており、利用者が出かける場合は、付いて行くようにしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 散歩や喫茶店に出かけるので、地域の方も理解して見守ってくれている。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 建物自体が地域の避難場所に指定されている。事業所の訓練のほか、市、消防署と合同で開催する防災祭りには地域住民も参加し訓練を行っている。 <input checked="" type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 GHの建物が避難場所であり、ラジオや懐中電灯の備品、水や食料は分散して備蓄している。		
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 健康状態記録、チェック表で把握している。 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 麺類や味付けご飯、肉より魚と利用者が好みを言うってくれるので、献立に取り入れている。 <input checked="" type="checkbox"/> 定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 併設施設のケアハウスの栄養士に、チェックしてもらっている。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 日当たり良い広々とした居間と食堂はソファやTVが置かれ、畳の間も使いやすい。 <input checked="" type="checkbox"/> 天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気を壊していない。 カレンダーや節分の鬼面、利用者が作られた編み物が飾られ、過度の装飾になっていない。 <input checked="" type="checkbox"/> 季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 2つのユニットをつなぐ廊下には3月の雛段と紅白の梅花が飾られ、各ユニットの飾り棚には今年の干支ねずみの置物、チューリップ、菜の花や椿の生花、水仙の香りは季節感一杯で五感を楽しませてくれている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫している。 TV、筆筒、冷蔵庫、机や椅子、電話等好みに合わせ配置している利用者、押入れに荷物を収納し何も置かない利用者など、それぞれ居心地良く過ごせる居室にしている。 <input checked="" type="checkbox"/> 家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 本人の意向を汲み取りながら配慮している。		